

## 参加報告：LLGAサミット2013

福岡地域戦略推進協議会が、福岡の世界へのブランディング活動のひとつとして参加している「Living Labs Global Award（社会実験国際賞、以下 LLGA）」と、その表彰式を含む3日間の都市サミット「LLGA サミット 2013」に関して以下のように報告いたします。

### ■ Living Labs Global Award (LLGA)概要

Living Labs Global Award（以下、LLGA）は、世界 39 都市、290 企業とネットワークを持つ NPO 団体「Living Labs Global（本部：バルセロナ）」が 2009 年より毎年主催している、都市開発ソリューションに関する国際アイデア・コンペで、各ホスト地域が掲げたテーマに対して、世界中からアイデアを募集します。2012 年度には、福岡を含む 22 地域がホスト地域として参画、50 か国から総数 555 件の応募があり、主な応募者は起業家や革新的な中小企業でした。主催者が世界中にネットワークを持っていること、またオラクルや世界銀行などのグローバル企業や国際機関が共催者になっていることから、このような多くの応募が得られています。

LLGA の最大の特徴は、ホスト地域が優勝者に社会実験の機会を提供することにあります。各地域は応募者の中から優勝者を選定した上で、その優勝者のアイデアを地域の現場にて時限的に展開する社会実験に取り組むことが義務付けられています。2009 年度の優勝者の提案の幾つかは、既に実装されており、当該地域での社会実験、ひいては世界各地でのビジネス展開への期待が、応募への動機付けとなっています。また、サミットと称される授賞式では、主催者、ホスト地域、そして各地域応募者のうち上位 5 者に残った者が一同に集まり、様々な交流やマッチングの機会が設けられています。

- ・主催：Living Labs Global
- ・共催：CITYMART.COM、オラクル、The Climate Group、THE WORLD BANK

### ■ LLGA2013 参加地域

Aalborg（デンマーク）、Barcelona（スペイン）、Boston（米国）、Christchurch（ニュージーランド）、Eindhoven（オランダ）、福岡（日本）、L'Hospitalet（スペイン）、Lagos（ナイジェリア）、Lavasa（インド）、London（英国）、Maringa（ブラジル）、Mexico City（メキシコ）、Oulu（フィンランド）、Paris（フランス）、Rio de Janeiro（ブラジル）、Rosario（アルゼンチン）、San Francisco（米国）、Sant Cugat（スペイン）、Sheffield（英国）、Tacoma（米国）、Terrassa（スペイン）、York（英国） 計 22 地域

### ■ 参加目的

- ・福岡の世界へのブランディングを主目的とする（サンフランシスコ、バルセロナ、ハンブルクなどの強力な国際ブランドを持つ地域と横並びでの広報を行う。）
- ・都市開発プロジェクトのアイデアを広く世界から募集する
- ・世界の企業・団体とのネットワーキングを行う

## ■スケジュール

2011年11月～2012年1月31日：アイデア募集

2012年3月21日～29日：第1次審査（応募の中から上位6候補を選出）

2013年4月15日～26日：福岡地域審査員による第二次審査、最優秀賞決定

2013年5月14日～16日：LLGA サミット2013にて最優秀賞の表彰式及びマッチング会議

2013年6月～ 社会実験導入調整開始

## ■募集テーマ（福岡）

SMART INTERNATIONAL CONFERENCE DESTINATION- スマートな国際会議開催地 -

「国際コンベンションや展示場を開催できる福岡の規模や魅力を強化するために、国際会議参加者と主催者の双方が便利に使える、関連情報閲覧・管理ツール」

## ■LLGA2013 福岡賞（最優秀賞）

タイトル：“Guidebook”

応募者：Guidebook Inc.（米国カリフォルニア州パロアルト市） <http://guidebook.com/>

概要：MICE ツールのためのスマートフォンアプリケーション

## ■LLGA2013 FUKUOKA 賞（最優秀賞）「Guidebook」の選考ポイント：

①多言語対応である

②Fukuoka で想定できるコンベンションの主流規模に適している

③来街者がアフターコンベンションを楽しむ為に必要な情報を提供できるプラットフォームがあり街へのインパクトがある

また、提案企業はアジア進出に積極的であり、既に韓国・ソウルにオフィスを持ち日本国内オフィス開設も視野に入れていること、そして第二次審査対象素材であるプレゼン動画が Fukuoka 向けに作成されていたことも、優勝への高い意欲として選考の決め手となった。

## ■審査員（福岡）敬称略

1. マーク・コ克蘭氏（Business Strategies Group マネージングディレクター／UFI（国際展示会協会）アジア太平洋支部事務局長）
2. ヌア・アマド・ハミッド氏（ICCA（国際会議協会）アジア太平洋支部事務局長）
3. 星野幸代氏（国連ハビタット福岡本部 本部長補佐官）
4. ジョン・メーダー氏（レンドリース・ジャパン株式会社 シニア・プロジェクト・マネージャー）
5. 前田真氏（九州大学 知的財産本部 副本部長／准教授）
6. 定村俊満氏（株式会社ジーイー・タップ 代表取締役社長）
7. 坂本剛氏（株式会社産学連携機構九州 代表取締役）
8. 高島宗一郎氏（福岡市 市長）
9. 山下真輝氏（株式会社ジェイティービー旅行事業本部観光戦略室 マネージャー）

## ■ LLGA サミット実施概要

日時：2013年5月14日（火）～16日（木）

開催地：米国サンフランシスコ市

メイン会場：フォートメイソン・カンファレンスセンター（Conference Centre, Fort Mason）

出席者数：214名

出席者カテゴリ：地域パートナー代表者（市長・商工会議所役員・市職員 等）、ソリューション開発者、起業家、投資家、インキュベーター、メディア関係者 等

## ■ 内容

### 【1日目】2013年5月14日（火）

#### ◆午前：地域パートナー・トレーニング・プログラム（Cities Training Program）

地域パートナー限定のプログラム。都市のソリューション採用の現状や Citymart.com の活動内容、過去の実証実験の事例（バルセロナ、ラゴス）、市民ジャーニー・マッピング（オラクル）を各スピーカーから学んだ。

#### ◆午前：地域パートナー代表者会議

22 地域の代表者各 1 名が一堂に集まり、意見交換を行う（Fukuoka は後藤太一 FDC 事務局長が参加）。



#### ◆午後：地域パートナーとの対話&表彰式（Cities Dialogue & Announcement of Winners）

4 グループに分けられた地域パートナーの代表者らが登壇し、モデレータの質問に各人が回答した後、最優秀ソリューションの発表を行う。福岡は、モデレーター：Chris Vein（世界銀行 CIO）の進行により、Christchurch（ニュージーランド）、Oulu（フィンランド）、Paris（フランス）、San Francisco（米国）の代表者らとともに福岡地域戦略推進協議会事務局長が登壇した。各最優秀賞発表毎に記念写真を撮影。Maringa（ブラジル）からは、新市長と旧市長が登壇した。



### 【2日目】2013年5月15日（水）

#### ◆午前：講演

Citymart.com の CEO は世界の地域パートナーからのアンケートを発表。バルセロナ副市長はバルセロナが取り組む、Free Zone 等のスタートアップ誘致戦略を発表し誘致を呼びかけた。オラクル社の公共セクター担当ディレクターはスマートシティ・プラットフォームについて発表。

#### ◆午前：エレベーター・ピッチ

LLGA2013 第一次審査通過ソリューション開発者らによる 1 分間のプレゼンテーションが次々に行われた。登壇企業数は約 30 社。健康や環境分野のプレゼンが多くみられた。

#### ◆午後：パラレル・セッション

4 テーマから興味のあるものを事前に選び、それぞれの個室へ入室。約 30~40 人の全参加者が短い自己紹介を行った後、スピーカーからプレゼンを聞き、意見交換を行った。  
例) B カテゴリー「Experience of the City」: NFC タグ・QR コードを利用した情報案内システムや、道路下に埋め込まれた装置の上を通過することでエネルギーを作るシステム、AR (拡張現実) ソリューションなどの発表が行われた。

#### ◆午後：ビジョニング・ワークショップ

メイン会場にて、グループ毎にテーブルに分かれ、テーマに沿った共同試行作業を 90 分程行う。グループで意見を交換しあった要点を、1 分間で発表した。

#### ◆午後：パネル・ディスカッション

スピーカー 4 名 + モデレータ 1 名による討論会。テーマは「The City as a Lab」(研究室としての都市)。社会実験を経て、サービスリリースしている起業家たちが、実装に至るまでのポイントや課題を言及。会場参加者との質疑応答は、具体的なノウハウ交換

### 【3 日目】 2013 年 5 月 16 日 (木)

#### ◆イマージョン・プログラム/ワークショップ

4 種類のプログラムから 1 つに事前申し込みし当日は各プログラムの指定場所へ集合した。1 つは最低人数に満たず中止された。「San Francisco's unique approach to innovation workshop」に参加。下記 4 箇所を訪問し、サンフランシスコ独自のイノベーションへの取組み & 施設を見学した。治安の悪さで有名なテンダーロイン (Tenderloin) 地区再開発計画の影響がうかがえた。

#### 1. The San Francisco Chronicle Building @901 Mission Street, SF

改装されたサンフランシスコ・クロニクル新聞社のビルに、複数のイノベーション関連施設が入居する。入居施設の一つ、Intersection for the Arts (アートでコミュニティのイノベーションを図る施設) にて、以下関連団体からのプレゼンを聞いた。

- 5M Project (<http://www.5mproject.com/>)  
イノベーションの起こるコミュニティを作るには
- Gray Area Foundation によるアート & テクノロジー & 社会 (公共スペース) を繋ぐプロジェクト「Urban Prototyping」について (<http://urbanprototyping.org/>)
- Pier 70 (<http://pier70sf.org/>) による、ウォーターフロント開発について (<http://www.sfport.com/modules/showdocument.aspx?documentid=5678>)
- the HUB Bay Area (<http://bayarea.the-hub.net/>) 世界中にネットワークを持つコ・ワーキング・スペース the HUB の Bay Area ブランチの活動について。

#### 2. The Warfield (<http://thewarfieldtheatre.com/>) @982 Market Street, SF

1922 年に開場され、2008 年に改築された元劇場のコンサートホール。収容人数 2,250 人。音楽ライブ以外にもカンファレンスやセミナーとして利用される。二階客席にて以下の方々から話を聞いた。

- Clara Brenner 氏 : 都市の課題解決に特化したスタートアップ・アクセラレーター Tumml (<http://tumml.org/>) の CEO。(例 : Zipcar、サンフランシスコ公共レンタル自転車事業)  
<http://www.bizjournals.com/sanjose/news/2013/04/01/new-incubator-ai>

med-at-helping-urban.html?page=all

- 起業家 Barney Pell 氏 : QuickPay (<https://qpme.com/>) CEO で、Powerset (<http://www.bing.com/>) の開発者。

「Future is going on mobile!」世の中はモバイルになり、将来的には、駐車場ごとの料金徴収設備は必要なくなり、車を止めて映画館へ行き携帯電話を提示すると映画館が駐車料金を払うこともありうるといった話を伺った。

- Google.org (<http://www.google.org/>)

### 3. WeWork Golden Gate (<https://www.wework.com/sf/goldengate>) @ 25 Taylor Street, SF

1922 年に開場された劇場ビルを改装した、ニューヨーク発のコ・ワーキング・スペース WeWork の Golden Gate 店。

- 改装が終了し、会員が既に入居している上層階を見学した。1~10 人用の個室は窓際に設置されており、大きな窓が開放感を演出する。共有のリビングルームとキッチン、休憩の他、ワークショップの開催や、開発中アプリの試作評価の場として利用され、スタートアップの成長をサポートしている。
- 見学ツアーの案内をしてくれたシリコンバレーのスタートアップ事情に詳しい Peter Hirshberg 氏 (Re:imagine Group の共同創設者兼 Grey Area Foundation for the Arts の共同創設者) は、「コ・ワーキング・スペースはたくさんあるが WeWork のすごいところは、そのスピード感。ニューヨークで始めた事業がたった 2 年でサンフランシスコやロサンゼルスに数箇所のスペースを作った。こんなに早いのは珍しい。」と評価。

### 4. TechShop (<http://www.techshop.ws/>) @926 Howard St, SF

2006 年に誕生した会員制工房の San Francisco 店。3D プリンターやレーザープリンターの他、金属カッターなど個人での所有が難しい大型製造設備が備わっている。会費を払えば誰でも利用でき、自由に作りたいものを作ることができる。利用者はインストラクターから設備の使い方を教えてもらったり、レッスンを受けたりできる。